

横並び型アクションリサーチ(私はこう思うけど、あなたは?)

## 「母親発! 今、子育てしている私の気持ち」アンケート結果報告

## ～ 自由記述より抜粋 ～

子育てについては一人一人の責任だけど、正しいことを知らない人たちが虐待をしてしまうから、色んな人とコミュニケーションをとりながら親子ともに成長するのが子育てだと思った。(20代前半・女性)
母親同士の会話は子どもから目を離しているのが危険。実際に母親同士が話しに夢中で子どもが亡くなった事件を知っている。親の責任が低下していると思う。準備の出来ない親が子どもを産むべきではない。(20代前半・女性)
仕事場が保育園なので1人親を多くみっていますが、年々若年化が進み、10代出産未婚のママさんが増えて、正直、日々あきれています。無責任な人が多く、子育てを放棄している様です。一方で片親でもしっかり仕事と両立している家もあるのですが、年々ギソウリコンが多く、手当てがほしいばかりの例も増加しているのも現状です。不公平ではないか(同一手当)と常に考えてしまっています。私自身は子育てもほぼ終わり、子どもに対しては孫のような気持ちで接する事ができる為、子育て中の中より大分冷静な目になっています。(40代後半・女性)
理想と現実にはギャップがあることを痛感した。同じ子どもがいないように同じ子育てなどないのだから、悩んで選んだ方法に「大丈夫だよ」と言ってくれる人間が必要だと思う。子育て情報、ありすぎて困ります(笑)。(30代後半・女性)
アンケートの内容で改めて子育てについて考えることができました。自分の子育てについて客観的にとらえる事が出来た様に思います。(30代前半・女性)
子どもたちの成長、教育を優先。大事にする社会にするには、大人たちが批判し合うのではなく、協力しあう様になってほしい。(50代後半・女性)
意外と何も考えずに子育てをしている自分に気付きました。子どもは「社会の宝」「次世代を担う存在」と家族で話していますが、それを実現できる社会であってほしいと願います。(30代前半・女性)
三つ子の魂百までとありますように、できることなら三歳くらいまでは、愛情たっぷりに祖父母や両親の元で育つことが、子どもたちがたくましく生きていけるのに必要な環境ではないかと思えます。共働きしなくても生活していける社会にしていくことが今の日本の課題ではないでしょうか。(保育園を増やすことより、母親がゆったりと子供に接してあげられるような環境です)。(30代後半・女性)
すべてにおいて答えは1つではなく、その時、その場によってどちらにも答えが考えられると思う。ただ、まずは自分達の家庭が安定していないと他人を思いやる気持ちを持てる余裕は無い気がする。(30代前半・女性)
つぼをついた内容の質問があり、「そうそう!」と思うところがあった。理想とする子育ての形、子どもとの過ごし方、子どもに何を与えてあげられているか、との差やズレ・迷いに毎日が過ぎていっている気がする。見つめ合い一緒に笑い合える時は本当に幸せだ。この小さな手で自分を抱きしめてくれるのは人生の中でほんの一瞬なんだな。ありがとうございました。(30代前半・女性)
妊娠出産については、マスコミなどが安易に自然分娩を礼賛するような記事ばかり載せることは無責任である。医療の介入は母子の安全第一の視点から見て、悪いことばかりではない。公平な記事が少ないのが残念。(30代後半・女性)
「エピソード1 子ども同士のトラブル」を読んで...子どもに気持ちを聞いたり共感する事を全くせず、自分の子を悪くして早く解決してしまう大人の行動が、自分も含め、ありがちな例だと思いました。最初からトラブルを避けるために親が子供の行動を制限して監視していても良くないし、トラブルが起こった場合もどこまで踏み込んで話せば良いか相手の親にもよるし、難しいですが、まずは第一に子どもに共感することが大切なのではないかと思いました。(30代後半・女性)
私は今、片付けの出来ない子どもに毎日腹を立てています。しかる 怒るで自分の感情が爆発し、子どもにあたってしまふこともあり、どうしたら良いのか日々考えています。子どもは好きでも親としてどうしてもゆずれない事もあり、どう接して良いのか分からなくなります。だから、一歩まちがえたら虐待になりかねないと思う人は、たくさんいると思いました。(30代後半・女性)
日頃子育てで生活の中で、ふと迷うことが質問項目になっていた。忙しさで、答えをつきとめずに通りすぎてしまっていたが、アンケートに回答して自分への答えが出た気がした。(30代後半・女性)
国や行政の子育て支援は、出産時や幼少期のものが多く、本当にお金のかかる高校、大学進学した時の援助は少ないと思えます。それでは、子どもを産もうと思うのは、なかなか出来ず、少子化は進み、育児の不安も解消しないと思えます。(30代後半・女性)
親だけでなく社会全体で、みんなで子どもを育てようという雰囲気が大切だと思う。母親(父親)の気持ちを受けとめる場所が必要。子どもは親以外の人にもほめたり叱ってもらったりする経験が大切だと思う。それはやがて未来の子ども達につながるはず。(30代前半・女性)
世の中には「大変なこと」(仕事や介護、闘病などなど)がいろいろあり、子育てもその1つだと思いますが、子育てがもっとも「幸せ」な「大変なこと」なのではないかと最近思っています。大変なことは多いですが、我が子のかわいさ、大切さは何者にも変えがたいです。「子供はかわいいよ」「育児大変だけど幸せだよ」と大きな声で言える世の中になったら素敵だと思います。(20代後半・女性)
E)の子育てエピソードは、公園等で実際によくありそうな事例だと思った。今まで母親側の気持ちしか考えたことがなかったが、子どもにも伝えたい感情があるのかもしれないと気付いた。しかし、それを汲んだ上でもやはり社会のルールは教えるべき必要があると思う。(20代後半・女性)
C)妊娠・出産については、1人目の出産と4人目の出産とでは気持ちも考えも全然違うので、答えるのに戸惑った。このアンケートがどのようにまとめられ、考察されるのに興味があります。社会の中での子育てがどんどん遠のき、母親だけに責任がのしかかってくるように思います。もっと国や行政に、本当に子どもたちのためを思って行動してもらいたい、子どもを食い物にする企業を取り締まってもらいたいです。(40代前半・女性)
30年も前のことが思い出されてなつかしくて、ちょっぴりさみしい気がしました。私は一生、母親でいたいな。もう一度生んで育てたいな。(50代前半・女性)
他者と比較して優越感を得ようと思った時から、ゆがんだ欲望になって不幸が始まると思います。2兆円のバラマキに反対!!福祉に使うべきです!!(50代後半・女性)

理想と現実、本音と建前...このズレは埋めるべきもの？or抱えていけばよい？(40代前半・女性)
E(子育てエピソードについて)の項目などは、自分の考えと実際にやってしまう行動が違ってしまう部分があり反省した。子どものためにはこうしたい、するのが良いと思ってもとっさには出来なかったり不安でその場をとりつくりつたりしてしまうので、自分の弱さに気づかされました。(30代前半・女性)
本来はこうありたい、あってほしいと思っても現実にはそうでないことが多々あり、回答に悩むところがあった。(30代前半・女性)
このような内容をもっと多くの人々に考えてもらいたいと思います。子どものいない方々に考えるチャンスがあるとよいと思います。自分も子どもをもつまで子どものいる世界について考えるチャンスがありませんでした。(30代後半・女性)
もっと父親と母親の交流会とか飲み会とか親睦会などがあつたらお互いに楽しいと思うし、情報交換ができていいと思う。その間は子どもをみてもらうルールなどで、父親が不在がちの家は結構多いかなと思うのでママの具合などが悪いときすぐ対応してくれる制度や夏休み長い休みなどに出来る合宿、キャンプファイヤーなど小さい子どもをみてくれる上の子との宿題などみてくれる人がいるといいなあと思う。(30代後半・女性)
アンケート作り本当にご苦労さまでした。子育てに今だから...昔だから...ということではなく、ルールなど守るべきことをしっかり教えられる大人や親がいる社会が理想、その時の問題に親子、夫婦、友人など信頼し、話し合いの出来る関係があるかどうか心の余裕と与える影響は大きいのではと考えられます。個性や感性豊かな子どもたちが育っていける社会であってほしいですね。(60代前半・女性)
現代は情報が多すぎて、いろいろな意味で「選択」をする必要がある。それが幸か不幸か当人でないとわからない。なんだか頭でっかちになりたくないと思いました。(30代前半・女性)
理想と現実のギャップ。もっともな意見よりも共感してくれる人の存在の大切さ。ダメなこと、問題だけを見るのではなく原因を追求し解決していくこと、子どもを自分の「わく」にはめようとしなくて、一個人として認め、尊重することでストレスが軽減することもある世の中がもっと子ども・子育て中の親にやさしくなることを願います。(30代前半・女性)
子供は本当にかわいいし大切に育てないといけないけれど、それが出来ない状況の時もあります。支援センターは母親たちのよりどころだと思います。いつもありがとうございます。(30代前半・女性)
人間の基礎が幼児期に作られることを思うと、スタートあるいは未婚の時代にこそ、子育ての大切さや発達の概要を教育する必要があると思われま。社会にそのような共通認識が出来上がればもっと楽しい子育てが出来、世の中に希望が見えてくると思います。(60代前半・女性)
言葉について(「結婚」「子ども」「親」など)定義せず回答者それぞれの定義で答えたアンケートの集計結果に意味があるとは思えない。言葉をもてあそんでいるような印象を今回の設問からは受けました。不快です。「横並び型アクションリサーチ」という方法を初めて知りましたがアンケート作成をされた方は自分の言葉に反応が返ってきて楽しいのでしょうかね。アンケート作成者の方々のために「ボランティア」で回答をした気分です。(30代前半・女性)
我が家には小学3年生の子供がいるので、アンケートの内容が少し年齢が低かったので範囲が狭かったように思えます。学校での現状を知って欲しかったです。(30代後半・女性)
子育ては、家族が協力して...とはいうものの母親の比重は高い。母親はこうあるべきという世間や身近な祖父母世代のしめつけが辛い時がある。(30代後半・女性)
子育て中の母親は、時として「自分はひとりぼっち...」と思うこともあるものです。とじこもらず、子どもと一緒に外に出ることで気持ちもリフレッシュに、又、いい笑顔で子どもにむきあえるものですね。そんな集まりの場がたくさんあり、気軽に参加できるネットワークや場所が多くなることを望みます。(40代後半・女性)
アンケートを取って終わりではなく、アンケートの結果やその結果を元に何が変わるのか(変わったのか)知りたい。(30代後半・女性)
子どもは、手のかかる、ときによってはうるさく思われるものです。今、子どもが嫌われている傾向があるようです。やっぱり、親の方に身体的にも精神的にもゆとりがないと、頭で考えていても行動にやさしさが出ないと思います。労働時間に余裕がほしいです。(60代後半・女性)
子どもが0才～7才位の時、小学校の時、中学校の時...それぞれ支援して欲しい事が違って来ます。アンケートも、今の私と、数年前の私では、全く反対の気持ちになっていた項目もあり、自分で驚いています。(40代前半・女性)
母親の心情がわかっているというか、うーんどうならせるうまい質問があつて、感心しました。行政のやる「子育て支援なら～」は、あまりにはずしすぎていて希望を持つ気にもなれない。(30代後半・女性)
子育ての理想と、社会の現実(モラル等)で悩んだ事も多々。皆が笑顔で暮らせると良いですね！「子育ては、自分(親)育て！！」(30代前半・女性)
質問文が分かりにくくて何回も読みなおしてしまった。もっと分かりやすく書いてほしかった。(Aちゃん、Bちゃんだと分かりにくい。)回りくどい聞き方をしないで、短い文にまとめれば、もう少し質問数が減らせたのではないのでしょうか？2歳の母親にはちょっと負担でした。辛口ですみません。(30代前半・女性)
いろいろな形態の家庭があるが、一番大切なのは、お互いを思いやる心である。それがあれば、子育てを楽しめるのではないか。自分の子も他人の子も認めあえるようになりたいし、そういった人が増えればいい社会になると思う。(30代前半・女性)
C-21で3に をしたが五体満足以上(頭がいいなど)も求めているのではなく、自分の子どもに障害があるので(それでも生まれてきてくれて嬉しいので)3に をした。同じところに をした人たちでも意味が違う質問は多いと思います。アンケートというのは難しいです。(40代前半・女性)
ネグレクトが疑われる子を個人で責任を持って見守ってあげるのは、とても大変なことと思われま。虐待を受けている子の気持ちやプライドを傷つけないようにしながら地域、ボランティア、専門家の人たちであたたく見守ったり、声かけをしていただけたらと思います。またE)エピソード1-1では、「しつけ」のことより未収園児で2才という幼さでは、よりいっそう自分の子どものことは叱ることはできて(あとで愛情表現をしてあげられるので)よその子を叱ることはなかなか難しいと思われま。(40代前半・女性)
すべての子育て中の方にあてはまらないとは思いますが、今の子育て世代は恵まれていると思います。「私はこの子のために自分のキャリアを捨てられません！」と言い切ったママさんがいました。そのために社会支援を必要としているということなのでしょう。夜のままでのおむつで保育園に登園したり、パジャマのままの登園など...。支援ももちろん必要なのでしょう。でも生んだからには家庭生活も大切にして欲しいと思います(主題からそれていたらすみません)。大変だけど楽しいのが子育てですから、その時を満喫して欲しいですね。(50代前半・女性)

質問によっては「まあそう思うけど、こういうこともあるんじゃないかな」と、別な意見を思いつくのもありました。深い問題意識や実際の声から生まれたものだと考えさせられるものだと思うので、これをもとに“対話”していくことが本当に必要かもしれませんね。(30代前半・女性)
子ども同士だけではなく親同士の関わり方は自分自身も、つい抑制的になってしまうように感じます。互いに理解し合える友達が1人でも居ることで子育てする意欲も変わるような気がしました。そのためにはやはり多くの交流の場や気軽に参加できる機会を増やして頂きたいと思いました。(20代前半・女性)
「横並び型アクションリサーチ」という言葉は初めて聞きました。現在2才の子どもがいますが、子育てがこんなに大変なのか...と落ち込むことも多く、このアンケートを見るとみんな同じなんだと安心できました。(30代後半・女性)
上の子は落ち着きがなく、すぐ泣く、言う事を聞かないなど、親でも泣きたくなる事が沢山ありました。同じように育てているつもりの下の子は、どちらが上かと言う程しっかりしていて素直です。アンケートを回答していて、私は知らず知らず比べたり自分を責めているんだと気づきました。子どもは2人共ものすごく大好きです。これからもっと愛情をかけて育てていきたいと思いました。もっと「行政が」というより、街全体があたたかく子どもを見守る社会になってほしいと思います。(20代後半・女性)
しつけはとても難しく感じているところです。子どもの気持ちは大事にしてあげ、分かってあげたいので、理由はきちんと聞くようにしています。しかし悪いことは悪いこととしてきっちり(かむ、たたく等)教えたいと思っています。幼児の表現では、済まされない場合も現実にはしっかり起きています。(40代前半・女性)
父親は忙しく不在が多く、祖父母は遠方など頼れる存在ではない。もしくは、子育てについての認識のずれで頼りたくない等、友人たちとはうわべのつきあいで母親が一人でがんばる感じが強い。孤独な子育てが多い気がする。それが一番母親を追い詰めて、子どもにとっても母親にとっても良くない状態だと思う。孤独感が虐待につながると思う。その辺の支援を求めたい。(20代後半・女性)
私が育児で辛かった時、精神科医齊藤学先生の「子育てが苦行であることは間違いない」という文を読んで、救われた気がしました。こんなに大変なのは、自分が母親に向いてないのに生んだからだといつも自分を責めていました。育児雑誌のようなものではなく、子育て、問題行動を起こした子どものことを書いた本などをよく読んでいます。普通のママ達は、皆、大変じゃなさそうで、とても不思議です。(30代後半・女性)
今回のアンケートを回答していく上で質問内容がネガティブなものが多く、あまり良い気持ちがしませんでした。仕方ないと思いますが...。社会に繁栄されることを願います。(30代前半・女性)
子どもを育てて初めてわかった事は数多くあります。なので育ててない人にはわかってもらえないのもよくわかります。今の社会では、母親の負担(体力、気持ち)が大きすぎてつらいです。(30代後半・女性)
子どもは必ず小学生になると親から離れて学校に行くので、それまでの6年間はずっと親とくんに母親と一緒にいるときの時間があっても良いと思う。幼稚園なども、子どもがいなくて楽になるという考え方ではなく、一緒に通える園がたくさんほしい。親子の関わりが大切で、それができなくなっている親を支える意味でも、親子で成長できる場所は必要だと思う。(30代前半・女性)
アンケートをしてみて、いかに自分が周囲の目を気にしているか(ちゃんと母親しているとみられたい)がよくわかりました。子どもの気持ちにもっと目をむけないという気持ちになりました。(30代後半・女性)
未就園児の育児の大変さは自分自身が経験してわかる事だと思います。また大変な時こそ一人で悩まず同じママ仲間と話したり、意見や情報交換することで育児ももっと楽しい事になっていくと思います。子どもが大きく成長した分、大人も成長している...と自分を誉めながら今後も育児を頑張っていきたいと思います。子どもは一人じゃ育たない!! 周りの人たちの愛情を受けながら、日々成長していくと思います。“頑張りすぎない育児”がとても楽かもしれません。(30代前半・女性)
子どもががんばったから産まれてこられたことに気づかされました。つい、自分ばかりが大変で苦労していると思ってしまうのはとっさとせられました。(40代前半・女性)
こんなに「子育て」という問題がクローズアップされているのに、なぜ行政の手が母親に届いてない感じがするのだろう。結局は、当事者同志が悩みを話し合うしかないのか!?(50代前半・女性)
子育て支援というのは、地域的に広がってきてはいるようだが、親にとっての支援はできてきても、子どもにとって育つ環境が本当に良いのかどうか...。子どもにとってもっと親の愛情を受けられるような支援であってほしいと思う。(40代前半・女性)
D-34の質問の意味が分かりづらかったです。子どもを育てることは思うようにいなくて当然だと思います。大人が子育てを通じ、子どもと一緒に育って行けたらいいと思います。又、子育てをする側が、まず仲良く助け合うこと、そんな姿で子どもが育てられたら、子育てをそんなに悲観的に考える人もいなくなると思うし、何でも乗り越えられると思います。そんな社会を自分たちから作ってみたいです。(30代後半・女性)
理想は尽きないが、子育てしやすい社会にするために個人の意識を高めること、国としてできること、行政の力が欲しい点を整理していくためにこうしたアンケートの結果を社会に伝えることが必要に思いました。(30代後半・女性)
子育てはいろいろな考えの人がいる中ですので難しいと思いましたが、これからもたくさんの人たちといろいろな係わりを持ちながら頑張りたいです。(40代前半・女性)
子育てを楽しくやるには、やはり何でも話せる友達がいる事と子育て支援に参加する事なのかな、と思いました。(30代前半・女性)
子ども達が一日中外で遊んでいるのが当たり前だった安全な時代に子育てをしていたので、今の子育てのむずかしさがこのアンケートで少しわかったような気がしました。(40代後半・女性)
普段思っている事、考えていない事等改めてアンケートとして出てくると考えちゃいますね。理想の部分と現実に行っている事とを今までの育児から振り返り、育児についてもっと真剣に向き合う時間を作ろうと思いました。(30代前半・女性)
子育てはまわりが心配をしても、当事者がしらんぷりをしていれば関わりにくいものだと感じています。昔の日本の様に、まわりのみんなで子どもたちを支えてあげられると子どもたち自身も変わっていきけると思います。(40代前半・女性)
自分なりに理想としている子どもに対する考え方や対応はあるけれど、実際には自分のその時の気分で怒ってしまったりするので、なかなか理想通りにはいかないものだな、と思います。(30代後半・女性)
質問の中の「～しなければいけない」という問いかけは回答していて苦しくなりました。またみんな本当に必要な事に気づいているんだなあと、地域で子育て支援の活動が活発になり、町が元気になることが願いです。(30代前半・女性)
子どもの前での本音と建て前が、正直あるなぁ...と実感。本当はありのままじゃないといけないうのに...と思いました。(30代前半・女性)

子育てエピソードについては、実際あることなので、考えさせられましたが難しく答えに迷いました。(30代前半・女性)
子育てはぶっちゃけ大変！です。もう少し子どもたちが大きくなったら私も子育て支援に協力できればなぁ～と思っています。(30代後半・女性)
今回のアンケートはとも考えさせるものでした。今の世の中は少子化と騒ぎ、国は子どもを産め産めと世の女性にハッパをかけ、そのせ産婦人科医が足りず救急体制も整えず、出産後だって保育園がたりないとゆうのに草加市は閉鎖するなんてチンプンカンプンな事言ってるし、子どもがいると職なんてほとんどない！こんな悪条件で国や行政は少子化は問題だなんて言ってほしくない。ただ周りの人にはとても感謝しております。散歩していると花をくれる方、電車で席をゆずってくれる方etc沢山の方に日々助けて頂いています。私も娘もいつか恩返ししたいです。今は3歳の娘と一緒に周りの方の助けを借り感謝していこうと思ってます。我が子だけでなく世界中の子どもたちが幸せになる世の中になって欲しいです。(30代前半・女性)
子育てに関して、じっくりと見直し考えるいい機会になったと思う。毎日育児に追われて、自分の理想と現実のギャップを実感した。(30代後半・女性)
一児の母となり、今は初めての育児に精一杯。周囲の支えもあり、ようやく子育ても楽しいと思えるようになってきたが、昨今の異常な犯罪の多い社会の中で、我が子が無事に育っていけるのか、時々不安に思う。愛情いっぱいかけて育てた子どもを守ってくれる社会作りにも国は力を注いで欲しいと思う。(30代後半・女性)
子育ては自分一人でなく、家族やまわりの人達の協力も必要だと思います。悩んだ時など、相談できる人や場所があったら一人で考えこまずに子育てができるのでは...これからも子供の成長を楽しみに子育てをしていきたいと思います。(30代後半・女性)
私のような年令になりますと“生かされている”と言う考え方が増してきます。子どもも授かった。大事なものを、自分が産んで自分が育てると言うのではなく、だから親(自分のor舅・姑)や経験者に聞く自信がありませんでしたからね。今はそれが少なくなった様に感じます。親より専門家の方を重視している様に思います。子育ても時代が変わるのでしょうか。(50代後半・女性)
このアンケートをなぜ育児をしていない人に答えさせるのか？(20代前半・女性)
子育て真最中の私ですが、理想と現実の間で、日々子どもに教えられ反省する毎日です。が、どんなに子どもがかわいくても24時間一緒にいるとストレスが溜まるのも実際の事で、ほんの数時間でも安心・安全に無料で子どもを見てもらえる場所が欲しいというのが、母親たちの本音ではないでしょうか...(30代前半・女性)
アンケートに答えさせていただいて逆にこちら(私自身)が考えさせられました。子どもが3人いて正直たいへんな面もありますが、地域の人たちが「たいへんね～」と声を掛けてくれたり、そんなささいなことも、安心感につながったり。小さなコミュニケーションも私にとっては宝物です。(20代後半・女性)
子供の養育に父母がかかわる事の出来る社会の仕組みがほしい。例えば、母親の仕事が続けられる職場、男性も子育ての協力が出来る職場、子どもは社会の宝です。本当に大事にみんなで育てたいです。(60代後半・女性)
今の世の中の生活スタイルが、昔と比べてずいぶん違い、子どもを追いつめるような場面が多いような気がしました。大人も心に(気持ちに)余裕がないように感じています。(30代前半・女性)
同じ立場や年齢の人同士は集まりやすく、それはそれで子育てする上で必要だが、違う立場や違う年齢の人が集まり何かを語ったり同じ事をして楽しむという場がもっとさかんに出来れば良いと思います。(30代後半・女性)
結婚して仕事をやめ、新しい地域に引っ越してきて子どもを通して知り合ったママ友さんは出来てもなかなか本当の友達が出来ず、少しさみしい気持ちになる時があります。ネットワークをつくる場が身近にたくさん出来るといいですね。(30代前半・女性)
子どものためや子どもを大切にといった本などは沢山あるけれど、“そのお母さんを大切に”という意見や本はなかなかないです。お母さんを大切にすると子育てもきっとゆとりをもって優しくできると思うのでそういう本や意見があったら嬉しいです。(30代後半・女性)
子育ては、身近な人たちの経験談を聞いたり話したり出来れば、大変だけれども自分も成長できるし、楽しい事がたくさんある事を気付く事が出来ると幸せなのに、外に出て行く勇気がない人がたくさんいる現実。お手伝いをしたい気持ちもあるけど、私には外に出て来た人とは付きあえても、出て来れない人を手伝えないもどかしさもあります。みんなが楽しく子育て出来たらいいですね。子どもはかわいいですね。(40代前半・女性)
子育ては個々の内にひきこもりがちなが多いが、互いに思いを打ち明けられる場があると一人悩まずに大らかな気持ちで我が子と接する心が持てる様に思う。時に自分と考えの違うこともあるが、それもひとつの策になことが多いように思う。母も子も様々な人と触れ合うことが大切に思う。(30代後半・女性)
住んでいる地域に知人もなく、情報といえば、市の広報や、市役所の子育て支援くらいのもので、それも人数制限などで参加も難しく、料金をとるものは参加しずらく無料で、自由に、いつでも、それでいて保育士や保健士などのいる場がもっと増えてほしいです。母親の孤独をもっと考える世の中になってほしいです。(30代前半・女性)
子育て中の人に子育て支援があると知ってもらうことが大事で、内容などのPRをもっとすべきであると思う。子どもと一緒に参加する楽しいイベントを増やしてほしいと思いました。(40代前半・女性)
改めて子育ての大変さ、子どもの大切さを実感しました。とにかく我が子は命にかえてでも守りたい存在であり、よりよい環境においてあげたいと切に思います。(30代後半・女性)
子どもが成長していくにつれ、悩みも複雑になり、小さい頃の悩み(寝ない、食べないなど...)は何でもない事のように思えてしまうが、一人目の最初、不安でいっぱいの母親の心を忘れずに、若いお母さんたちと接していきたいと思う。(40代前半・女性)
育児の世界は素晴らしく大切な仕事だと国で働きかけてほしい。そうでなければ、育児と仕事の両立ができる社会になってほしい。(30代後半・女性)
子どもを持つ親として、子育ては決して一人(母親)だけでできるものではありません。私は自分の子を見守ってくれる家族やまた友達、地域の人との関わりを大切に思います。(20代後半・女性)
現在の子育ては、自分一人(母親)でできるものではない。家族(夫)や地域の方と交流していかないと、“つらい子育て”になると思う。どんな子どもたちとも偏見を持たずに付き合っていきたいと思う。(30代後半・女性)
今、子育てをするのは大変な時代だと思います。社会的にも経済的にもとても厳しいです。もうすこし、社会も自分も安定していれば子どもをたくさん欲しいとも思えますが、現状では1人育てるのにやっとです。あたたかい社会になると良いです。(20代後半・女性)

子育て観や生き方観を調査することにより、何が見え、何が改善され、何につながっていくのでしょうか？私にはよくわかりません。同じアンケートなら、もっと子育て改善が見えてくるものにしてほしいと思いました。(30代前半・女性)
出産に関する質問内容によっては、傷つく親もいるかもしれません。(30代後半・女性)
自分の子どもは、健康で友達とも仲良くできていて、自分自身、ママ友にも恵まれて毎日楽しく過ごしているが、世の中には悩みを持ち抱えている人がいるのだなぁと改めて考えてみると、情報をどれだけGETできるかも変わってくると思う。(30代前半・女性)
自分の中に「人の子より我が子を大事にする」気持ちが強くと子どもの付き合いまで干渉しかねない可能性を発見しました。(30代前半・女性)
理想的な子どもの成長に、世間がとらわれすぎて、平均から少しでもずれたり遅れたりしている。子どもに対してとても厳しい目が向けられている気がする。(30代前半・女性)
子育てエピソードでは「いずれ、私もこのようなことで悩むのだろうな」「私はどんな母親になっているのだろう？」と考えました。このようなアンケートに母親として答えられたことが嬉しく思います。(30代後半・女性)
自分の考え次第で子育ての苦勞が楽になることもある。地域の人などたくさんの人たちに子どもをふれ合わせたい。(30代前半・女性)
「理想と現実」どちらも「わかっているけれども...」と思うことが多いなぁと思います。そこが一番の悩みで、それをどう解決できるかが大事なのかなと思いますが実際は日々の生活に追われてしまいあやふやになっていると思います。(30代前半・女性)
文が長すぎてわかりにくい。アンケートの作り方が下手。子育て中の人を対象にしているとは思えない。途中で何でもいいやと思う。(50代後半・女性)
このアンケートが男性(特に20 - 40代)にも行き渡って子育てを見直すきっかけになるといいと思います。...が実際こういうアンケートに答えるのは意識の高い人で、これを感じてほしい人はアンケートが目にとまることもないんですね...。(30代後半・女性)
意見するほど自分は立派ではないが、いじわるな子の親が子どもをまったく見ていない。本当にムカつく事があります。支援センターに行くのが少し嫌になっているのはそんな理由。(30代前半・女性)
例えば、アンケートの中の嘯む、叩くは～話のひとつである、とは思っていても、実際自分の子がやってしまったら、相手に申し訳ないし、自分の子がやられたら、何するのと思ってしまうところがあり、理想と現実の違いが多々あります。自分が親からされていやなことでも親と同じことをしている自分がいて、どうしたら、大らかに過ごせるか、日々考えながら、答えも見つからず...。子供の心に傷だけはつけないと思ったいと思います。(30代後半・女性)
我が子にその子らしく育ててほしいと願うものの、社会の中であまり困った子になってしまうとは...と不安に思い、つい枠にはめようとしている自分に気づきます。自分で残念に思います。また核家族化や地域の繋がりがなくなっている今の社会では、プライバシーや個人情報保護の優先で、子育て(介護なども)個人の問題とならざるをえないような気がします。近所の子も我が子と同様に声かけしたり、一緒に過ごしたり、親でなくともイイ関係がつけられるような社会だったら良いのになというのにつづく思います。うちのある路地で子どもの声にウルサイとどなる中年男性がいます。子育てをますます息苦しくしています。この子たちが私たちの老後を支えていくのですが。(40代後半・女性)
私には3人の子供がいます。そのうち1人には障害があり、今、小3です。現在は児童クラブに入所していますが、来年度からは自宅にだけしかありません。障害児の放課後活動する場所が欲しいと願っています。国は子育てに力を入れてくれています。障害児はあとまわしの考え方が納得いきません。(30代後半・女性)
今春から、2人の子供が幼稚園に上がり、1ステップ上がったところです。アンケートに答えていて、赤ちゃんの頃の間に関しましては、無意識に3人目を持った事を想像して回答していたように思います。そして答えていて、上の子が生まれた頃よりも自分の気持ちに余裕が持てている気がしました。世の1人っ子のお母さんでご家庭の事情が許すならば、複数人産んで、子どもを育てる喜びを感じて欲しいと思います。大変大変と思っていた事が、楽しみに変わっている事と思います。(30代後半・女性)
質問が多く疲れた。少し頭にくる質問や ×どちらも良い質問もあり回答に困った。特に、自然分娩と帝王切開に感ずる質問を無くしてほしい。どんな形であれ、命をかけて産んでいる。産み方に差は無い。すべて同じ母親だ。子ども達の健康と安全が守られる社会になるといいなあ。(30代前半・女性)
子どもは宝なので大切に育てたいと思う反面、自由になる時間がないことに悩んだりしています。子どもを出産した時と同じ気持ちで育てていくのは大変ですが「生まれてきてくれてありがとう」の心は忘れないようにしたいものです。(30代前半・女性)
回答には矛盾している点もありましたが、全て直感で偽らざるものなので、見直して書き直すことはしませんでした。子育ては、自分の信念をつらぬく事が大事だと最近思うようになりました。(30代後半・女性)
自分自身のことではありませんが、周囲のママ達の傾向として「サークル」や「ネットワーク」などに自分から足を踏み入れて「入れてください」と言っていく行動に対して抵抗感や苦手感、必要性を感じない気持ちを持っている人が大変多いと感じます。「わざわざ行く」という感じでなく「自然と組み入れられる」ような場のほうがいいのかなと見ていて思います。「サークル」「ボランティア」「ネットワーク」という言葉が敷居が高く感じられるのでしょうか？仲間ができてしまえば、楽しく楽で世界も広がり、子どもの成長も促されるのに、そのことを知らずに自ら子育てを閉鎖的にしてってしまうのです。どうしたら突破口が開けるのか...。(30代後半・女性)
Fの間2で思うことですが、保育園、支援センター、母親の講座等に参加されない方をどれだけ行政は把握しているのか。その方々にどのような働きかけをしているのか...という事が気になります。(30代後半・女性)
子育て観や生き方観という言い方にもとまどいましたが、そういうものは人それぞれ違うと思うので「共に探していく」目的がよくわかりませんでした。(50代前半・女性)



アンケートの対象の人間を見下しているのですか？こんな大切な内容のアンケートを少しの時間で書けるようなものはありませんよ。もしこのアンケートが集まり「世のもの」としてなって、それが全員の本心でなかったら意味がないのではないのでしょうか。やろうとしていることはスバラシイのにもったいなさすぎる。あと「判断できない」のチェックをつくるべき。人の問題で材料が少ない中、判断しろ、と言われても無理です。十人十色、十人十シチュエーションです。(20代前半・男性)
責任問題(例えば、預かっている子どもがケガなどをした場合など)があるため、辺りの人などが気軽に支援できる環境ではないと思う。(20代前半・男性)
近年、奇声を上げる子どもたちが増えているような気がする。これは自分にかまってもらいたいという気持ちなのではないだろうか。しかしながら、今の親たちは子供に対して無関心のような気がする。(20代前半・男性)
こんなに細かい質問をして、その結果を分析できるのですか。世の中の大勢を知って、安心したいのですか。(60代前半・男性)
子ども達の遊び場、安心して遊ばせる場所、施設があまりに少ないことに、子どもをもって初めて気付きました。(40代前半・男性)
諸外国に比べ、飢えるおそれも雨露にさらされるおそれもなく、医師のもとで子供を生み、教育の機会が保障され、紛争で命や身体を失い、失わせることもなく、病院で死をむかえることが出来る我国の幸福にどれ程の国民が気付いているのか。土建屋国家が破綻する前に、真の福祉国家を目指す国民の自覚に期待したい。(40代後半・男性)
アンケート自体<母親発>となっているのならば、母親中心のアンケートでいいのでは？という気がした。出題者側が無意識に母親偏重やボランティア志向の意図が少し感じられてしまった。(30代後半・男性)
D(子育て・生き方について)の設問がわかりにくい。誘導尋問のような感じがした。何となく全体的に一定の方向に答えを導くような感じがし、正確にアンケートをしている感じがしない。作成者の思想が感じられる内容だ。(40代前半・男性)
父親向けの質問が少ない。所得収入に関する質問があると、より詳細な分析ができると思う。(30代前半・男性)
子育て中の母親ばかりチヤホヤされる傾向になっていると思う。子供がいよいよいまいが生活していくのは大変なわけで...。今の母親世代が甘やかされて育ってきたので、いざ自分が子供をもったときに国がよくない、地域がよくないと文句を言う。国が富かになり、食料も生活環境も格段によくなっているのに、国が子育て支援しなければいけないなんておかしいと思う。(30代後半・男性)
子どもに対してまた深く考えさせられました。母親父親としての考えについても思い直す所がいくつかあり、大変いいアンケートでした。(20代前半・男性)
自分は将来結婚し、家庭をもった際には、第一に家庭、第二に仕事と考えたいと思っています。子どもは父親の影響を強く受けると思います。母親の愛情に加え、父親の愛情で子どもは心が豊かになると思います。その為には、親にも余裕を持たせることが必要なので、そこら辺は取り組む必要があると思いました。(20代前半・男性)

自由記述に寄せられたコメントは、500件以上もありました。  
どれも貴重で、選ぶのにすごく迷って、こちらですべてを紹介できないのが残念です。  
みなさん、本当にありがとうございました。